
ひとつえ

しらすぼし

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ひとつつえ

【コード】

N3182E

【作者名】

しらすぼし

【あらすじ】

わたしはひとつつえのひとがきらい。ちいさいころ、よくひとつつえのひとともめごとがあったからなのか、あのりふじんなたいどやいじめがあったからなのか。1歳差をつよくいしきするあのひとたちのきもちにきづいてあげられなかったわたしのせいなのか。

(前書き)

ほほすべてひらがなで読みにくいかと思います。面倒な方はどうぞ遠慮なくお帰りください。

わたしはひとつづえのひとすべてがきらい

だれかとくいていするでもなく、ただひとつづえのひとたちに憎しみがわくじかんがある。

ただむかしからひとつづえのひとはわたしのことをきらってて、たしかにそれだけのこと。

とくにひどかったのがようちえんじのころだからいまもきらいなかな。

いじめ、そうわりきったららかなのかもしれない。

まいにちなにもしていないのにわたしにしゃびいをきゅうせいしていたひとたち。

きらわれてた。むこうもわたしをにくんでた、きはした。

わたしはいみもなくあやまれるほどひろいところはなくて、どんなにかこまれてばとうされてもあやまらなかつた。

けれどやっぱりこわくて、なきむしだつたからまいにちなかされた。

そのときのあのひとたちのえがおがひどくこわかつた。

それでもちひさいころはどんなにりふじんでもわすれようどどりよくしてて、わすれようとしてたらずつとこころにのこっちゃつた。

つぎのひにはわすれてたからまいにちなかされてたのかな？

ああ、だいきらいだ。おもいだすだけでじぶんのよわさにはがゆくなる。

ほんとうにじつとたえていた、よわむしなじぶんがとつてもきらい。

どうしてたえてたんだろう。すこしおとなになってなぜおもいだしたんだらおう。

ひとりでいるとおもいだしてきらいになる。かんけないいまのひとつづえのひとたちをも。

まいにちうまくすごしてる。ひるはわすれているから、わらっていられる。

よるになっておもいだす、ひるにおもいださないだけかもしれませんがよるはよるなりにじつとたなきや、このまっくらにおおわれないうつたえなきやいけなから、ひとりで。

すこしだけきつい。

ねえ、うらんでいい？せめてりゅづがあればいいのに。

このことにわたしにひがあればいいのに。

ああ、あった。なんにもできずうずくまってたじぶんだ。

なにこんなことをぐちぐちいつてるんだろつ。

こうかいつてけっきよくじぶんがまいたたねなんだろうな。

それでもじぶんはきりはなせないから、たいせつにしてみましたから、私は何よりも自分に甘いから、一つ上の人たちを嫌つ。

大っ嫌いだ。

―なんて悪循環

本当に毎日くだらないことを深刻に考えて、これって平和の証かな

そう思ったらずい気が楽になるんだ。こんなちっぽけなトラウマさつさと笑い飛ばしたいけどずう〜とこつやっと思いついてはうだうだして、自己完結して、そしてまた・・・を繰り返すんだろつな。

(後書き)

最後まで付き合ってくださいありがとうございます。
おつかれさまでした！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3182e/>

ひとつうえ

2010年10月17日02時18分発行